

# 予算特別委員会

## 歳入

**問** 固定資産税や国庫補助金が減額になった要因は。

**答** 固定資産税の減額は3年に一度の評価改定時期と、メガソーラーの減価償却。新型コロナウイルスによる中小企業対象減免によるもので、国庫補助金の減額は主に人口減少が要因となっている。



▲予算特別委員会の様子

## 歳出

### 総務費

**問** 昨年より実施した、行政事務委託制度の状況は。

**答** 事務委託は法改正で行ったもので事務の効果や成果が目的では無い。

**問** シティプロモーション広告事業とは。

**答** FM仙台にて毎月第1金曜日10時より町のPRをするため放送しているもの。

### 民生費

**問** 保育所調理室改修工事の内容は。

**答** 調理室の床、壁の老朽化が進み改修するもの。

### 農林水産業費

**問** 道ばた林業の今後の事業計画は。

**答** 有害鳥獣対策を含めた事業で、森林育成を図り林家の所得向上のため森林経営計画につなげて行きたい。

### 商工費

**問** 滑津大滝公園の階段工事の内容は。

**答** 大滝に敷設されている鉄製の階段に流木被害が発生するため、撤去するもの。

**問** スキー場格納庫修繕内容と早期対応はできなかったのか。

**答** 格納庫屋根、外壁の老朽化による修繕で、利用者の安全の為に、リフトの修繕を優先した。

### 教育費

**問** 滑津公民館アリーナ修繕内容は。

**答** 雨漏りの為に体育館屋根を全面張替えるもの。

**問** 小・中学校のタブレット教育とは。

**答** タブレットを利用して学校以外でもオンラインにて学習を行っている。

### 公債費

**問** 償還金約2400万円になるが、今後も同額にて推移するのか。

**答** 公共施設関連や学校施設管理などで増えることも考えられるが、今後もバランスを取りながら、計画的に進めて行きたい。

## 予算特別委員会委員長報告（抜粋）

本委員会は、3月8日から9日までの実質2日間にわたり委員会を開催し、執行部からは、町長以下、各課長並びに課長補佐等の出席を求め、予算の全般的な事項及び内容等について詳細に審査を行いました。

その結果、一般会計予算並びに8特別会計予算について、いずれも妥当なものとして認め原案のとおり可決しましたが、一般会計歳入の財政調整基金からの繰入額が前年度より増額していることや、歳出においては移住・定住、子育て環境整備関連の予算が際立ち、構造物の設置・解体に対する行政執行の在り方など様々な審議が行われました。

各事業執行においては、各施設の指定管理業務や農地中間管理機構を主体とした圃場整備事業、南蔵王エリア再開発事業など町の基幹産業の振興や観光産業の振興についての審議も行われましたが、予算執行にあたっては職員が丸となり、すべての施策は町民のためであることを念頭に事業の執行にあたられることを期待し報告と致します。

予算特別委員会委員長 梅津 政志

## 定例会追加提案

### 令和2年度補正予算（第10号）

#### 〔提案理由〕

財政調整基金繰入金増額を見込み、白石市外二町組合に対する出資金等を措置するため補正を行うもの

#### 〔補正額〕

2000万円追加

**問** 梅津 政志 議員

12月中に資金不足が予測されたがと思われるがこの時期になった理由は。また、再々出資金や補助金を出さなければならぬのか。

**答** 町長

12月には資金不足の話はなかった。昨年は借入金として行ったが、今回は出資金として補正する。問題があれば早めには議会に説明する。

**問** 吉田 修 議員

常勤医師不足の対策は。

**答** 町長

医師不足は病院で対応する。医師派遣会社での対応も検討したい。

**問** 五十嵐 敏夫 議員

病院を解散するための課題や解散の為にどのくらいの金額が必要なのか。日程は。

**答** 町長

1市2町の議会定例会終了後、4月中に県の許可を受け、病院解散作業部会を立ち上げるが解散には多額の金がかかる。入院患者や職員の処遇への対応が課題あり、日程については今後協議を行う。